

科目名	看護倫理 Nursing Ethics		科目区分	共通	単位数	2単位
教員名	佐藤ゆか*, 荻野朋子*, 福沢嘉孝*, 福井雅彦, 八島妙子*		必修・選択	必修	開講年次	第1学年
	*:実務家教員				開講学期	前学期
科目概要	医療の高度化・複雑化, 国民の医療に対する権利意識の高まりなどに伴い, 看護専門職は, 多くの複雑かつ困難な倫理的問題に直面するようになってきている。本科目では, 看護実践の中で, 看護職が日常的に直面している倫理的問題・葛藤について, 関係者間での倫理的調整を行うための知識を学修する。主要内容として, 倫理原則や人々の多様な価値観, 今日の医療における状況について学ぶ。さらに, 倫理調整の実践について事例を用いて検討し, 理解を深める。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 看護倫理の概念, 倫理原則, 法的側面, 倫理指針について説明できる。 2 看護・医療の場で生じやすい倫理的問題を論じることができる。 3 倫理的諸問題における看護職の役割を説明できる。 4 看護研究や教育において, 必要な倫理的な配慮について説明できる。 5 医療および看護現場での倫理的ジレンマに潜む課題を明確化し, 調整方法を討議できる。 					
内 容	1	R5.6.9(金) 6・7	看護における倫理とは①	ガイダンス, 医療倫理と看護倫理, 倫理と法律	佐藤 ゆ か	
	2	【Zoom】	看護における倫理とは②	看護倫理綱領, 医療倫理の4原則, 看護実践上の倫理的概念	佐藤 ゆ か	
	3	R5.6.15(木) 6・7	看護倫理の基盤①	倫理学とは何か, 何故倫理が必要か, 倫理学と他分野(環境・技術・科学など)との関連, 様々な倫理理論(功利主義・義務論・徳倫理・物語倫理・ケアの倫理・自由主義と共同体主義など)(全体討議を含む。)	福井雅彦	
	4	【対面】	看護倫理の基盤②	ニュルンベルク綱領 ヘルシンキ宣言 リスボン宣言, 医療倫理の4原則, 他者危害原則 原則の特定化 原則の比較考量など(全体討議を含む。)	福井雅彦	
	5	R5.6.22(木)6 【対面】	看護倫理の基盤③	ICの歴史, ガン告知訴訟の事例検討, 情報開示の基準と自己決定権など	福井雅彦	
	6	R5.8.4(金) 6・7	看護倫理の基盤④	医学・医療における倫理指針	福沢嘉孝	
	7	【対面】	看護倫理の基盤⑤	先端医療における倫理指針, 生命倫理	福沢嘉孝	
	8	R5.7.6(木) 6・7	看護現場の倫理的課題①	倫理的意思決定のためのモデル	八島妙子	
	9	【対面】	看護現場の倫理的課題②	倫理的ジレンマ・倫理原則の対立・葛藤(全体討議を含む。)	八島妙子	
	10	R5.7.13(木)6 【Zoom】	看護現場の倫理的課題③	看護研究, 教育における倫理的問題	佐藤 ゆ か	
	11	R5.7.28(金) 6・7	事例検討	倫理調整のための事例分析①プレゼンテーション, 全体討議	佐藤 ゆ か 荻野 朋子 福井 雅彦	
	12	【対面】	事例検討	倫理調整のための事例分析②プレゼンテーション, 全体討議		
	13	R5.7.29(土) 1~3 【対面】	事例検討	倫理調整のための事例分析③プレゼンテーション, 全体討議		
	14		事例検討	倫理調整のための事例分析④プレゼンテーション, 全体討議		
	15		事例検討	倫理調整のための事例分析⑤プレゼンテーション, 全体討議		
学修方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業で提示する参考図書や資料を十分に読み込み, 積極的に授業に臨むこと。 2 授業では, 学生のプレゼンテーションを取り入れ, 討議を通して学びを深めていく。 3 1コマあたり, 90分以上の事前・事後学修が必要になる。 4 プレゼンテーション及びレポートの内容について, 適宜, フィードバックを行う。 					
評価方法	授業への参加状況(プレゼンテーション含む)(40%), レポート(60%)により, 総合的に評価する。					
教科書・参考書	授業の中で提示する。					
履修上の注意点	3分の2以上の出席を満たしている場合, 評価対象とする。					

オフィスアワー

荻野朋子：水曜日 16:20～18:00 C棟5階個人研究室④
※ 兼担・非常勤講師については別紙にて配布する。